

【基本教育科目/人間の理解】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
現代の倫理	NLA11_011	選択	2	1	後期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
松崎 昇	教員控室	kango	Teams で相談質問等随時受付		
授業の目的・概要	<p>1. 問い 中絶に際し胎児の生まれ生きていく権利は？ 生体クローンって人間はダメなの？ 安楽死ってなんでいけないの？</p> <p>2. 目的 本科目は、学生が現代社会の応用倫理的諸問題、とりわけ生命倫理上の諸問題に積極的に関心を持ち、自分なりに調査・考察・発表・議論できるようになることを目的とする。特に、看護師を目指す皆さんは、将来、生命倫理的な諸問題に真正面からぶつかることになる。そこに正解はない。本科目で、皆さんが、看護師として行動する際の倫理的な構えを体得することができる。大方の受講を強く勧める。</p> <p>3. 概要 ①人間論、および②倫理学という基本を踏まえ、かつ③現代社会が抱える応用倫理的諸問題を概観したうえで、④生命倫理の全体像・具体的諸相・現実的諸問題を体系的論理的に考究していく。終盤の第13～15回には、Active Learningを行う。</p> <p>[①Group Power Point発表、②Group Debate、③Total Discussion] という三形態を用意している。Exciting & thrillingな3回となろう、お楽しみに。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート				
学習上の助言	<p>1. 国内外の応用倫理・生命倫理上の諸問題に広く関心を持ち、積極的に調べ感じ考えてみることを。</p> <p>2. 毎回の授業で用いる Power Point 資料を事前に up する予定である。あらかじめ目を通しておくことを勧める。</p>				
教科書	使用しない。				
参考書	授業中に適宜紹介する。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	人間論・倫理学について、基本的な事項を説明することができる。		HSU(1)(2)(5),NS(1)(5)		
②	現代における応用倫理的諸問題について、さまざまな角度から調査・考察できる。		HSU(1)(2)(5)(6),NS(1)(5)		
③	特に生命倫理の全体像・諸相・諸問題について、体系的に説明することができる。		HSU(1)(3)(5)(6),NS(1)(3)		
④	生命倫理等に関し、受講生同士でさまざまな発表・対論・討論することができる。		HSU(1)(4)(6),NS(1)(2)(4)		
授業計画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	科目の Guidance. 人間を学ぶ1(物質の展開、文化の過剰性)。	講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。		4
2	人間を学ぶ2(人類の地歴的展開、現代)。	講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。		4
3	倫理を学ぶ1(義務論、帰結主義)。	講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。		4
4	倫理を学ぶ2(徳論、応用倫理学)。	講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。		4
5	現代経済倫理を学ぶ(企業倫理、地球倫理)。	講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。		4
6	現代国家倫理を学ぶ(政府倫理、世界倫理)。	講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。		4
7	現代意識倫理を学ぶ(科学倫理、存在倫理)。	講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。		4
8	生命倫理を学ぶ1(全体像：四原則等)。	講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。		4
9	生命倫理を学ぶ2(産む産まれる：中絶等)。	講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。		4
10	生命倫理を学ぶ3(生きる：再生医療等)。	講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。		4
11	生命倫理を学ぶ4(死ぬ：安楽死等)。	講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。		4
12	Active Learning (AL) のための Guidance.	講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。		4

【基本教育科目/人間の理解】

13	AL1：受講生による Group Power Point 発表。	発表	指定課題に取り組む。	4				
14	AL2：受講生による Group Debate.	対論	指定課題に取り組む。	4				
15	AL3：受講生による Total Discussion、まとめ。	討論・講義	指定課題に取り組む。	4				
試	期末 Report.							
達成度評価								
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		0	30	40	0	30	100	
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	0	0	10	
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	10	20	
	協調性・リーダーシップ	0	0	10	0	0	10	
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10	
	コミュニケーション力	0	0	10	0	0	10	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10	
問題を発見・解決する力		0	10	10	0	10	30	
評価のポイント					フィードバックの方法			
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点						
試験	①							
	②							
	③							
	④							
レポート	①	✓	期末 Report を評価する。 着視点、ならびに調査・考察の質量等に着目する。			Comment を付け、返送する。		
	②	✓						
	③	✓						
	④							
成果発表	①	✓	受講生による [①Group Power Point 作成・発表・質疑応答、②Group Debate、③Total Discussion] を評価する。 着視点、ならびに調査・考察・発表・発言の質量等に着目する。			Comment を付け、結果を公表する。		
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
その他	①	✓	毎回提出する課題を評価する。 調査・考察の質量等に着目する。			Comment を付け、返送する。		
	②	✓						
	③	✓						
	④							
備考								
他担当教員	なし							
教員の実務経験	なし							
実践的授業の内容	なし							
その他	<p>1. 授業は教室対面方式であるが、課題は Teams を用いて提示・回収・返却する予定である。念のため通信容量無制限の Wi-Fi 環境の確保を勧める。</p> <p>2. 授業進度等によっては、シラバスの変更もありうる。その場合には事前に告知する。</p>							